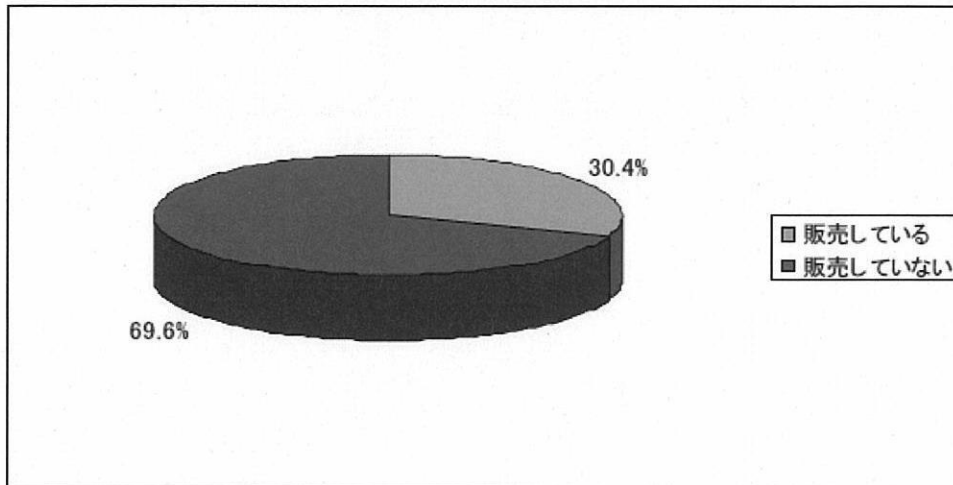


同報告書では、卸売業者に対して、医療機関に対する後発医薬品の販売の実態について調査を行っている。そこで、卸売業者に対するアンケート調査において、後発医薬品を積極的に販売しているかを尋ねたところ、「(積極的に)販売している」との回答は約3割にとどまっており、約7割が「(積極的に)販売していない」と回答している結果となっている。

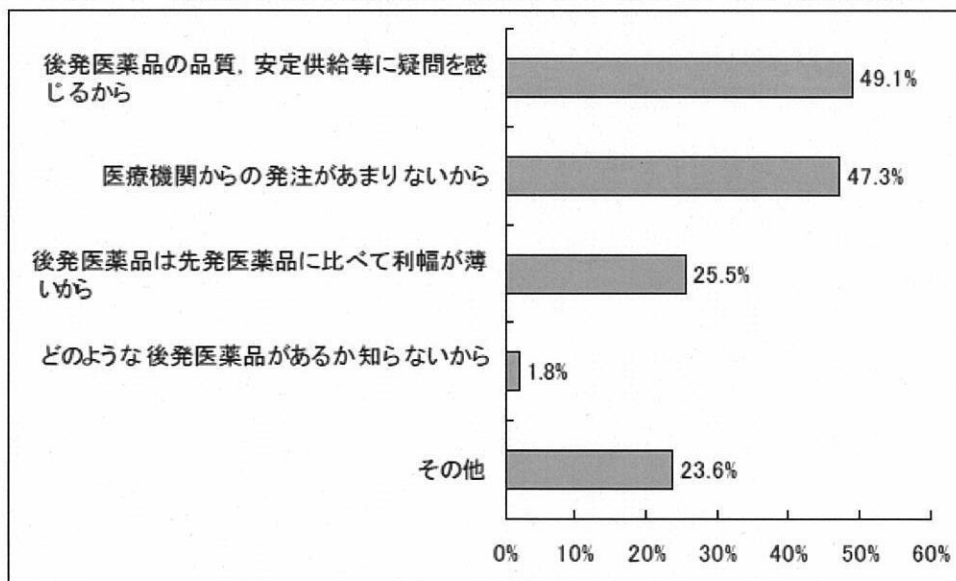
図表 52 後発医薬品の積極的な販売 (n=79)



出所：公正取引委員会「医療用医薬品の流通実態に関する調査報告書（平成18年）」

積極的に販売していない卸売業者の理由についてみると、「後発医薬品の品質、安定供給等に疑問を感じるから」（49.1%）が最も多く、次いで「医療機関からの発注があまりないから」（47.3%）の順となっている。

図表 53 後発医薬品を積極的に販売しない理由 (n=55、複数回答)



出所：公正取引委員会「医療用医薬品の流通実態に関する調査報告書（平成18年）」

## II. 一般国民向けアンケート調査結果

### 1. アンケート実施概要

- ・対象

インターネットアンケート会社登録モニター

- ・調査予定数

5,000 サンプル

- ・サンプリング方法

地域別・性別・年齢階級別にサンプル数を設定した。

詳細は下表の通り

	北海道・東北		関東		北陸・中部		近畿		中国・四国		九州		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	49	47	141	128	58	55	61	63	31	31	41	42	747
30代	54	55	170	157	73	69	73	76	36	37	44	46	890
40代	54	55	134	125	61	59	59	61	33	34	43	46	764
50代	67	68	152	150	72	73	72	76	44	45	53	55	927
60代以上	108	145	232	278	118	148	119	150	74	100	83	117	1,672
合計	332	370	829	838	382	404	384	426	218	247	264	306	5,000

- ・調査時期

平成 21 年 3 月 25 日～平成 21 年 3 月 27 日

- ・調査実施方法

アンケート用 WEB ページを作成し、WEB ページ上で回答

- ・回収数

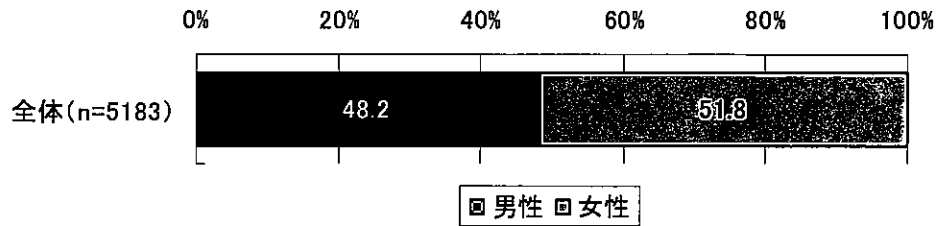
5,183 サンプル

## 2. 回答者属性

### (1) 性別

回答者の性別をみると、「男性」が48.2%、「女性」が51.8%となった。

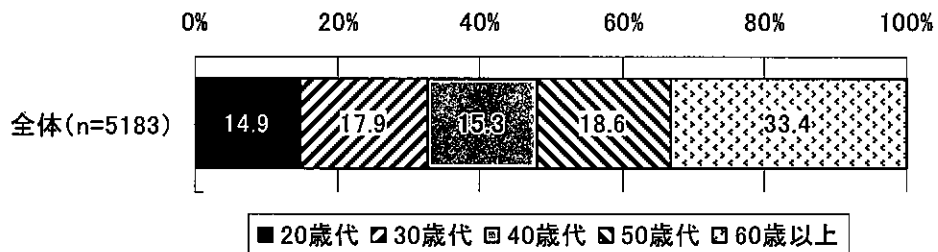
図表 2-1 性別



### (2) 年齢

回答者の年齢をみると、「60歳以上」が約3割を占める結果となった。

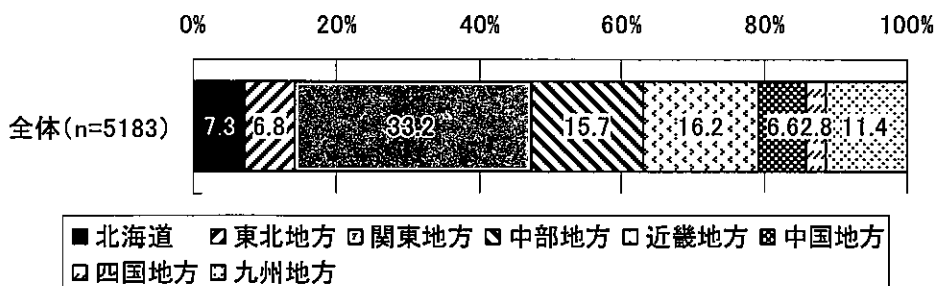
図表 2-2 年齢



### (3) 居住地

回答者の居住地をみると「関東地方」が約3割となった。

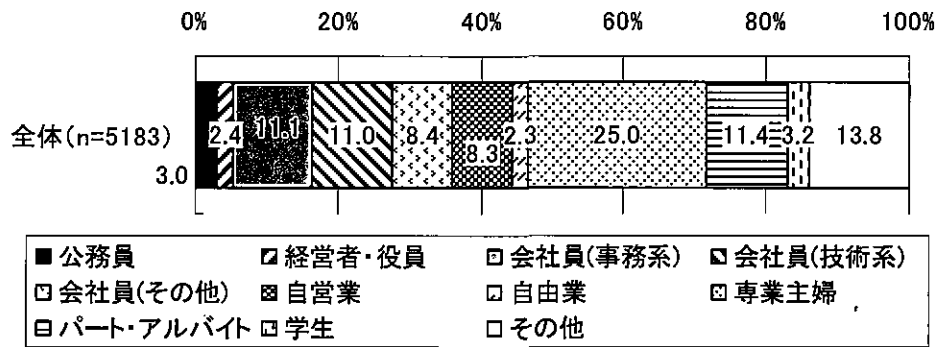
図表 2-3 居住地



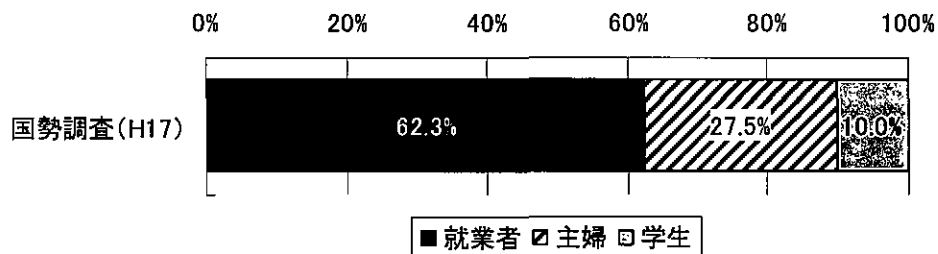
(4) 職業

回答者の職業をみると、「専業主婦」(25.0%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト」(11.4%)、「会社員(事務系)」(11.1%)、「会社員(技術系)」(11.0%)の順となった。

図表 2-4 職業

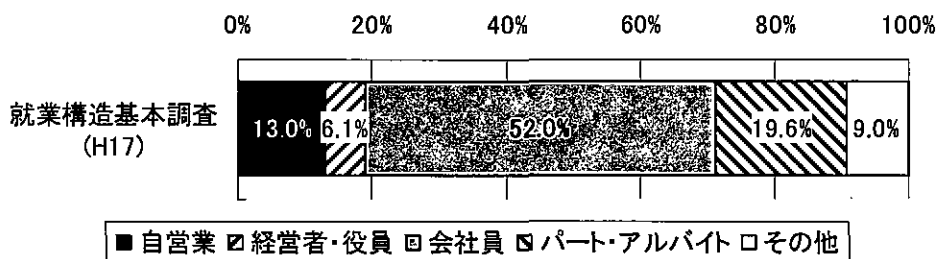


図表 2-5 (参考) 国勢調査(平成17年度)



注) 20歳以上で集計

図表 2-6 (参考) 就業構造基本調査(平成17年度)

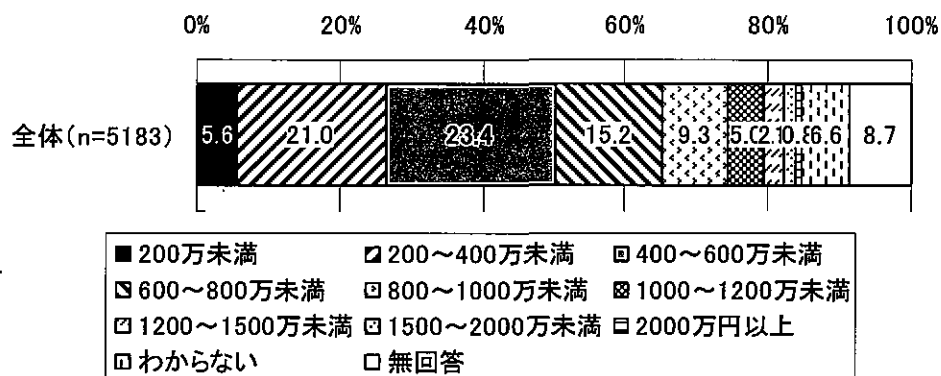


### (5) 世帯年収

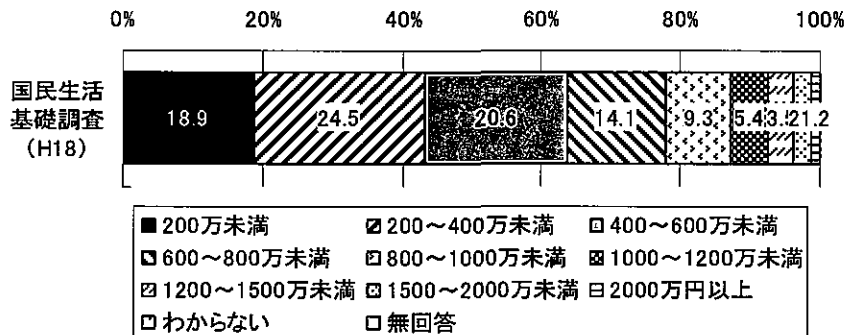
回答者の世帯年収をみると、「400～600万未満」が23.4%と最も多く、次いで「200～400万未満」(21.0%)、「600～800万未満」(15.2%)の順となった。

国民生活基礎調査(平成18年)と比較すると、今回の回答者の世帯年収は高くなっている。

図表 2-7 世帯年収



図表 2-8 (参考) 国民生活基礎調査(平成18年)

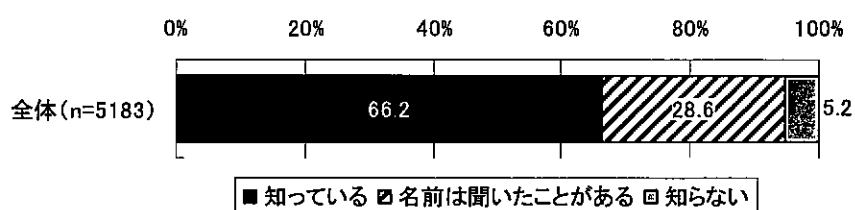


### 3. アンケート結果

#### (1) ジェネリック医薬品の認知度

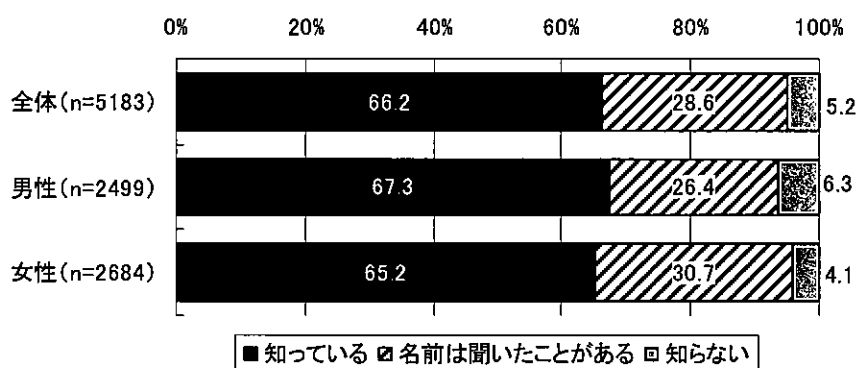
ジェネリック医薬品の認知度についてみると、「知っている」との回答が66.2%、「名前は聞いたことがある」が28.6%、「知らない」が5.2%となった。

図表 3-1 後発医薬品の認知度

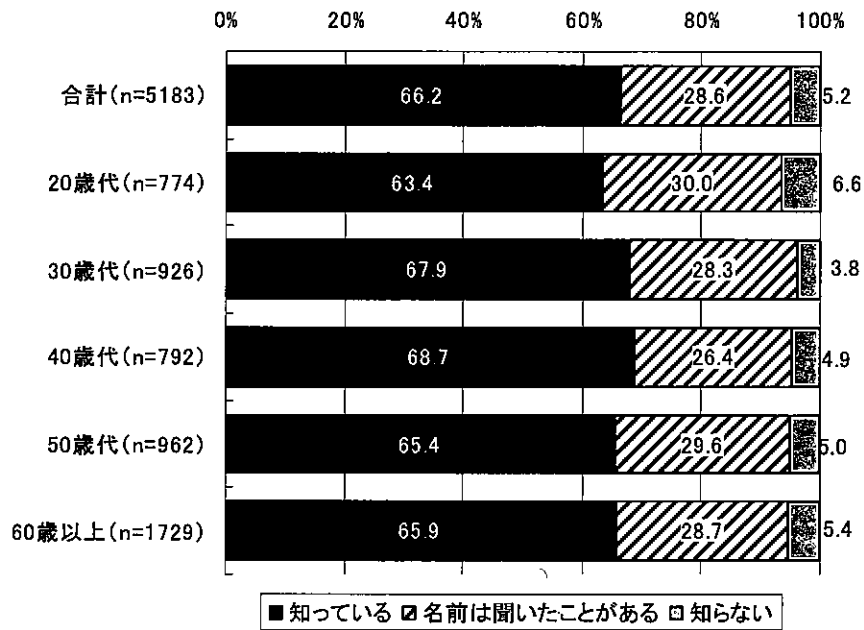


性別、年齢別でも大きな差はない結果となった。

図表 3-2 後発医薬品の認知度 (性別)



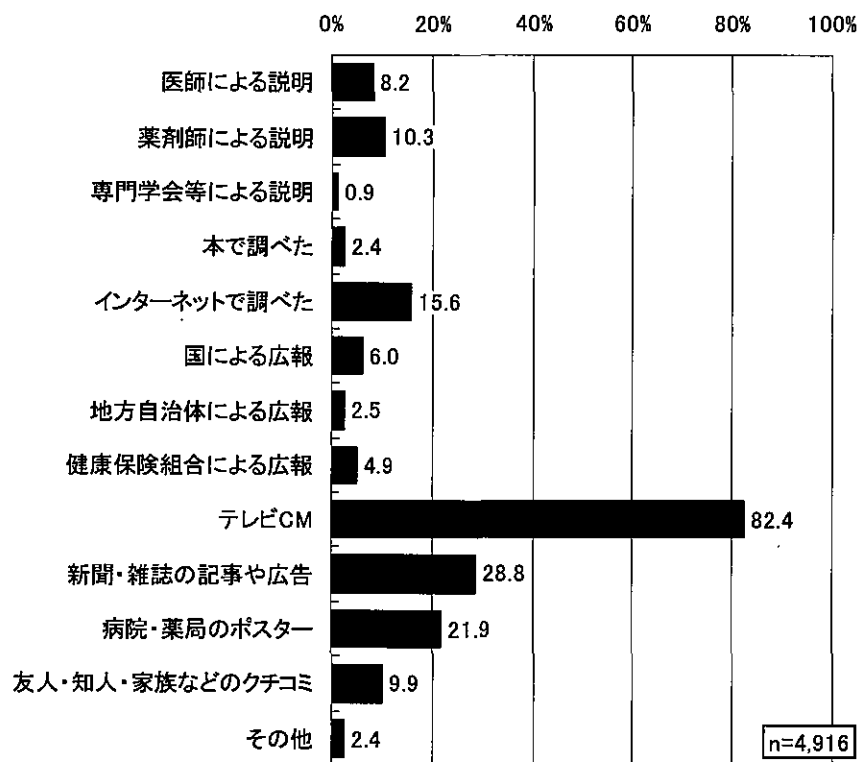
図表 3-3 後発医薬品の認知度（年齢別）



## (2) 後発医薬品を知ったきっかけ

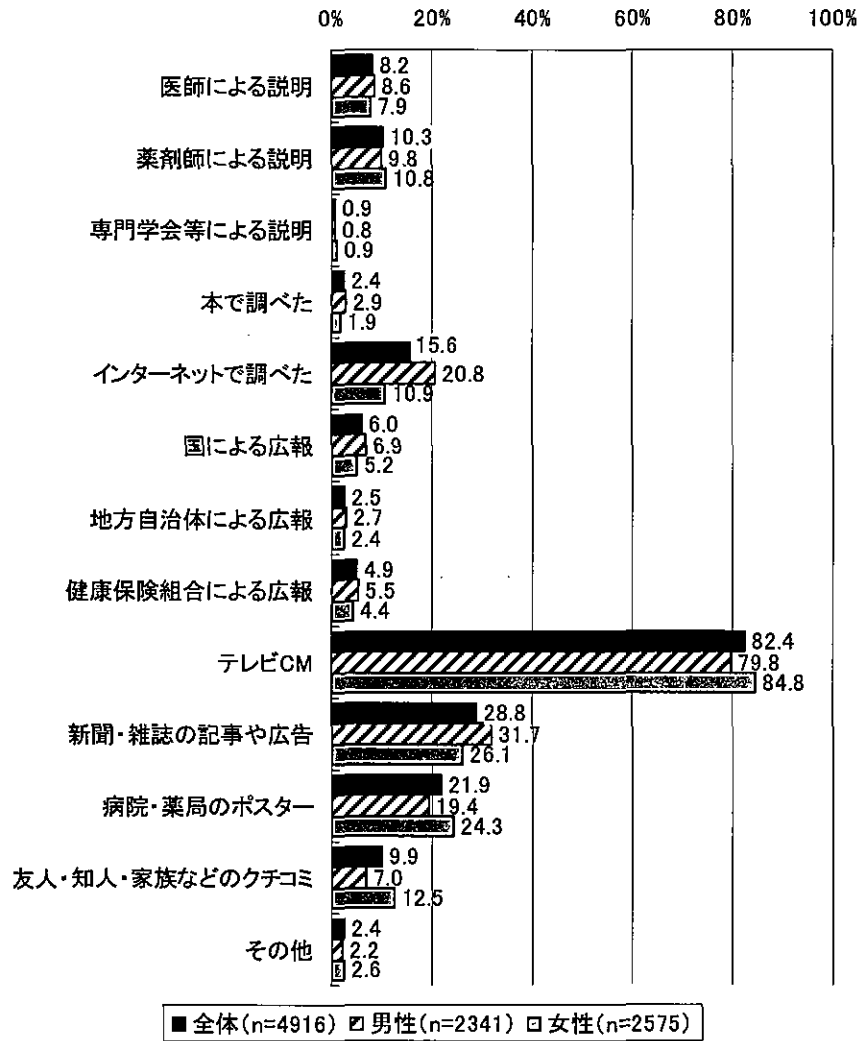
ジェネリック医薬品を「知っている」「名前は聞いたことがある」と回答した人に対して、知るきっかけを尋ねたところ、「テレビCM」が82.4%と最も多くなった。

図表 3-4 後発医薬品を知ったきっかけ（複数回答）



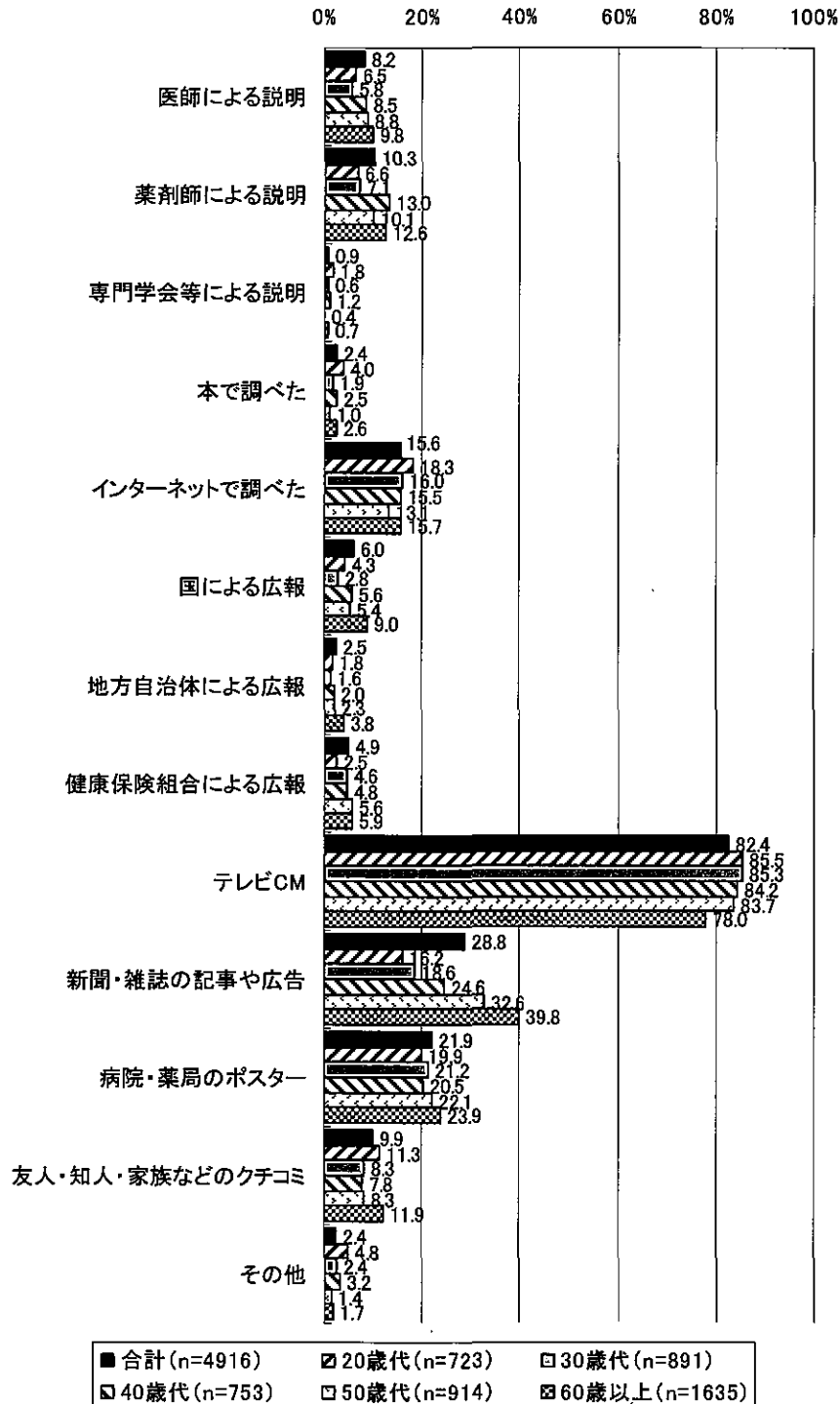
性別で見ると、女性に比べ男性で「インターネットで調べた」と回答した割合が高い結果となった。

図表 3-5 後発医薬品を知ったきっかけ（性別）



年齢別にみると、「テレビCM」は年齢が上がるにつれ回答割合が低くなり、「新聞・雑誌の記事や広告」は年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっている。

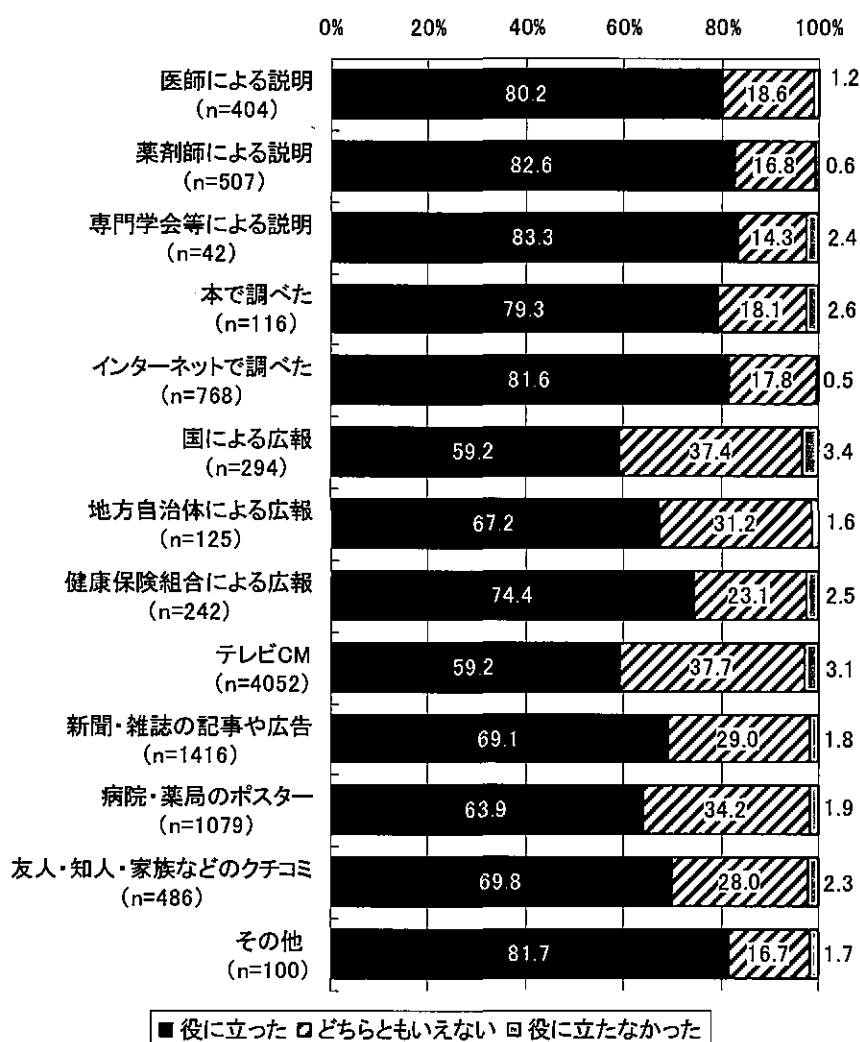
図表 3-6 後発医薬品を知ったきっかけ（年齢別、複数回答）



### (3) 情報の有効度

ジェネリック医薬品を「知っている」「名前は聞いたことがある」と回答した人に対して、ジェネリック医薬品を知るきっかけとなったものが自身にとって有効なものであったかについて尋ねたところ、いずれの情報源も約6割以上が「役に立った」との回答であった。特に、「医師による説明」「薬剤師による説明」「専門学会等による説明」、「インターネットで調べた」では「役に立った」との回答が8割以上という結果となった。

図表 3-7 情報の有効度



性別で見ると、男性に比べ女性の方が、「国による広報」、「友人・知人・家族などのクチコミ」と回答している割合が高い結果となった。